

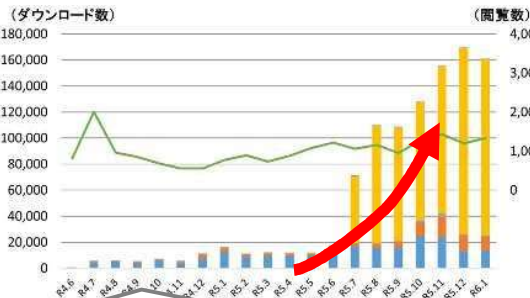

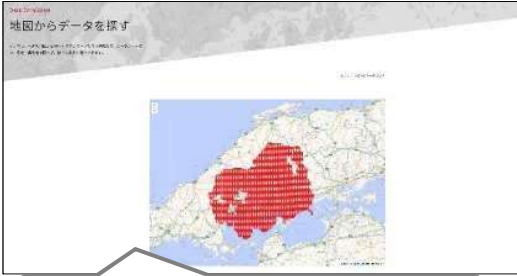
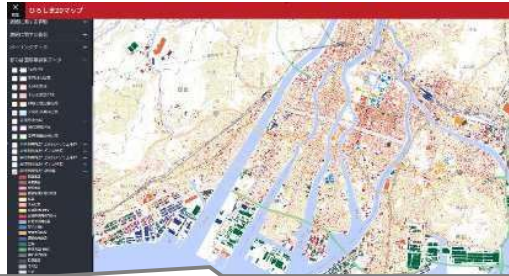





これまでの主な成果

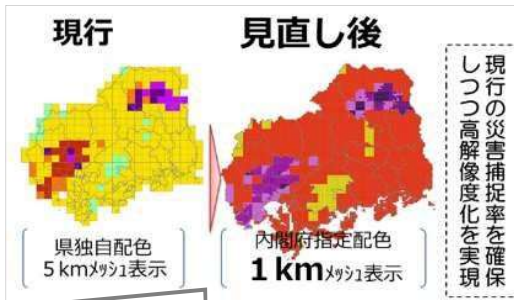
取組分類	新たなサービス・付加価値の創出
①新たなサービス・付加価値の創出	
インフラマネジメント基盤 DoboX の構築・運用拡大	
	
国・県に加え、市町の主要道路の規制情報を公開 (R5.6)	浸水想定、土砂災害などのリスク情報を公開 (R4.6)
	
<ul style="list-style-type: none"> ・3次元点群データ等を、建設事業者が調査・設計業務等に活用 ・一元化された災害リスク情報を地域の災害図上訓練等に活用 ・3次元点群データによる人工地形の判読など大学の研究に活用 ・避難情報等の防災情報を民間事業者の開発したアプリ等に活用 	<p>人工地形の判読 (大学研究) 防災マップづくり (地域活動)</p> <p>防災アプリ (アプリ開発)</p>
②価値あるデータの整備	
県土全体の3次元デジタル化	都市計画基礎調査結果のオープンデータ化
	
県内全域で3次元点群データを公開 (R4.6)	都市計画区域等に加え土地や建物の利用現況等を公開 (R5.7)
中古住宅市場の活性化に向けた関連データの一元化	民間ニーズ等を踏まえたデータ整備・利活用の推進
	
不動産取引に必要な情報を取得できる不動産データ取得アプリをDoboXに実装 (R6.2)	 <p>データチャレンジコンテスト (R6.1)</p>
オープンデータを活用したイベントや大学での演習、コンテスト等を実施	

取組分類

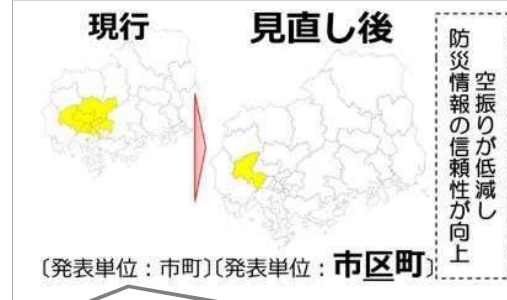
県民の安全・安心、利便性の向上

③災害リスク情報の発信

個人ごとに異なる災害リスク情報のリアルタイム発信



土砂災害危険度情報を最新の降雨データを基に全面改訂 (R3.6)

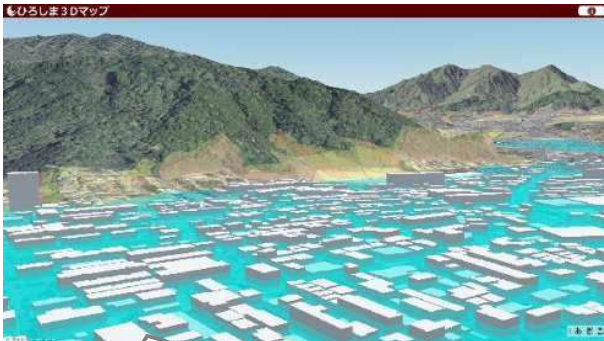


広島市の土砂災害警戒情報の発表区域を見直し (R3.6)



「Yahoo!防災速報」に、県が企画段階から協力し、マイ・タイムラインをデジタル化した機能を実装 (R3.9)

災害リスク情報等の3D マップ化



ひろしま3Dマップを運用開始 (R4.6)

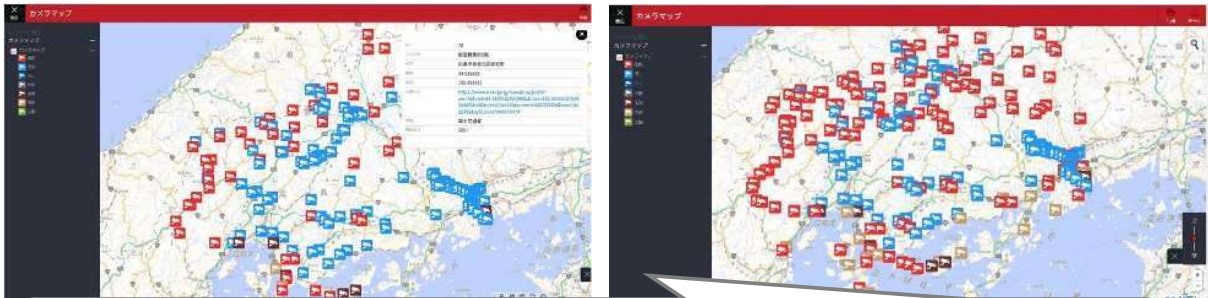
ARを活用した災害リスクの可視化



キキミルARを運用開始 (R4.6) し、活用されることで災害リスクに対する理解が深まっている。(アクセス数7,756件 (R4.6~R6.1))

④異常気象時の業務効率化

画像情報等の充実・強化



道路、河川、港湾等のカメラ情報を一元化 (R5.3) するとともに、道路、海岸のカメラを約100箇所追加 (R5.8)

取組分類

県民の安全・安心、利便性の向上

⑤円滑な物流・人流の実現

効果的・効率的な空き家対策の推進



VRを用いた物件閲覧機能実装後のアクセス数（11,965件（R3）→13,040件（R4）（+1,075件増））

デジタル技術を活用した瀬戸内海航路網の最適化



DoboXの航路情報や施設写真を、JR西日本が運営する観光ナビアプリtabiwaに連携し観光情報を充実（R5.3）

インフラツーリズムの推進

★R5実装★



DoboXにインフラツーリズム特集ページを掲載し、観光に資するインフラデータを公開（R6.2）

取組分類

建設分野の生産性向上

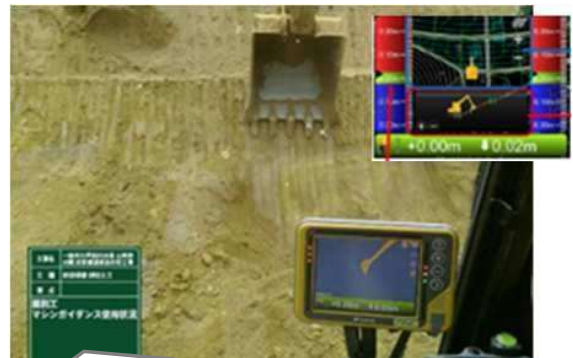
⑥効率的な事業の推進

主要構造物におけるCIMの完全実施



CIM活用業務の適用範囲を拡大（70件（R3.4～R6.4予定））
※R5は契約件数

土工工事におけるICT活用工事の完全実施



ICT活用工事の適用範囲を拡大（259件（R3.4～R6.1））

受発注者間の協議・臨場等の高度化・効率化



遠隔臨場を開始し受発注者間の業務を効率化（R3.9）

法規制関係情報の一元化表示



許可手続き等が必要な14法令の区域情報等を公開（R5.3）

取組分類 建設分野の生産性向上

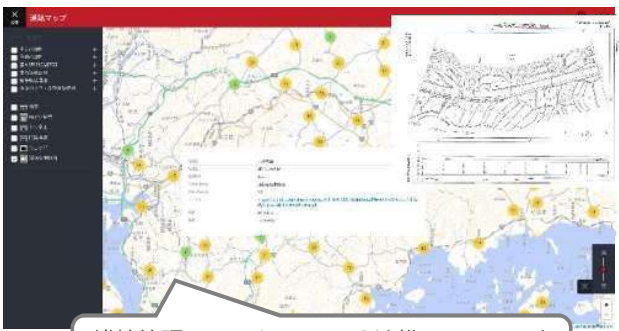
⑦維持管理の高度化・効率化

ドローン等を活用した施設点検の高度化・効率化



ドローンを活用した施設点検を開始し点検を効率化 (R5.6)

道路台帳付図閲覧の利便性向上



★R5実装★

維持管理システムと DoboX を連携し、DoboX 上で付図データを公開 (R6.2)

除雪作業における支援技術の構築



除雪車に支援システムを実装し除雪作業を支援 (R5.3)

路面管理の効率化と路面陥没を予測する技術の構築



路面性状を把握する技術を実装し路面管理を効率化 (R5.3)

取組分類 持続可能な変革

⑧人材育成と官民連携

デジタルリテラシー向上に係る研修の実施



ICT 活用工事の実践的な講習会を開始 (R4:44 名,R5:99 人)



民間向け GIS オンラインセミナーを開始 (R5 : 約 40 人)

建設現場の魅力発信



学生向け現場見学会において AR・VR を体験 (R4:23 人)



DX 関連ブースの展示など建設現場の魅力を発信 (R5:約 8,000 人)